

本調査は、小規模事業者の皆様のご事業活動支援の一環として、市内5業種130社の小規模事業者等を対象とした景況並びに経済動向等の調査を4半期毎に実施し、集計分析を行っております。

2023年7月から9月の調査結果がまとまりましたのでご報告させていただきます。

【調査期間】 2023年7月～9月

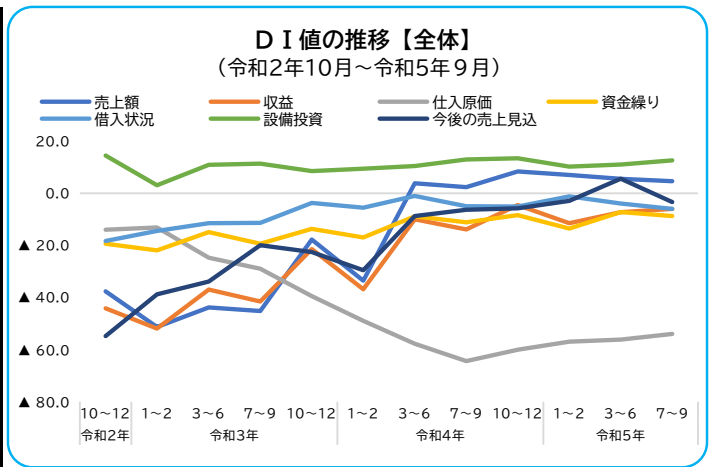
【調査方法】 建設業・小売業・卸売業・製造業・観光サービス業の5業種、合計130社を対象にアンケートを実施。
(回答企業数75社、回答率57.7%)

【DI値の算出方法】 ①かなり増加等=1、②やや増加等=0.5、③不変=0、④やや減少=▲0.5、⑤かなり減少=▲1とし、
(①+②)÷全体数×100-(④+⑤)÷全体数×100でDI値を算出する。

※選択肢の目安:「かなり」=20%以上、「やや」=5～20%未満、「不変」=0～5%未満

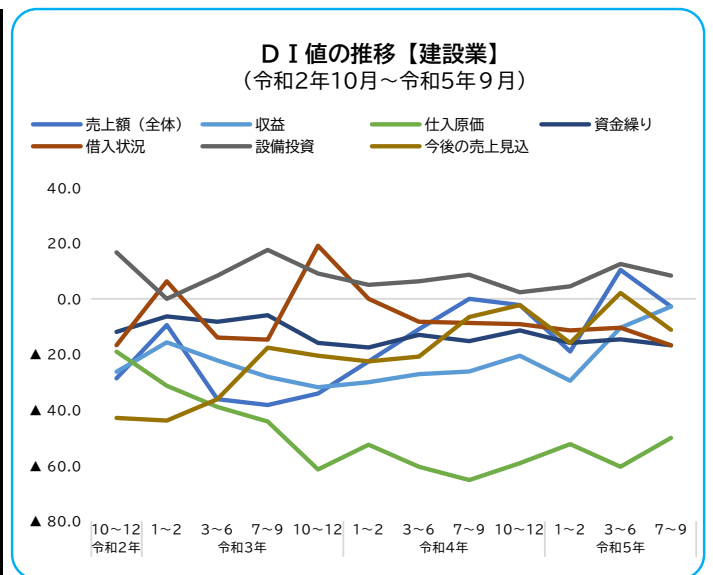
問1 今期の貴社の状況は、昨年と同じ時期と比較してどうですか。また、今後の見通しはどうですか。

全体		かなり	やや	不変	やや	かなり		DI値
売上額	増加	4	23	28	16	4	減少	4.7
収益	増加	0	22	26	23	4	減少	▲6.0
仕入原価	低下	0	1	11	44	19	上昇	▲54.0
資金繰り	好転	1	5	50	18	1	悪化	▲8.7
借入状況	減少	0	7	55	10	3	増加	▲6.0
設備投資	増加	1	22	48	3	1	減少	12.7
今後の売上見込	増加	1	20	31	19	4	減少	▲3.3



2023年7月から9月におけるDI値は、売上額、設備投資以外の全ての項目でマイナスとなっており、依然として厳しい状況がうかがえる。しかしながら、昨年同期との比較では、借入状況、設備投資以外の全ての項目で改善傾向となっている。特に仕入原価については昨年同期▲64.4ポイントから10.4ポイント改善しているものの、全業種で▲50.0ポイント以上となっており、現在直面している経営上の問題点でも、「仕入原価の高騰」が65%と最も多く、次に「経費（燃料含む）の高騰」63%となっている。今後、求められる施策や支援策については「補助金・助成金」と「原材料・燃料価格の高騰対策」が47%で最も多くなっている。

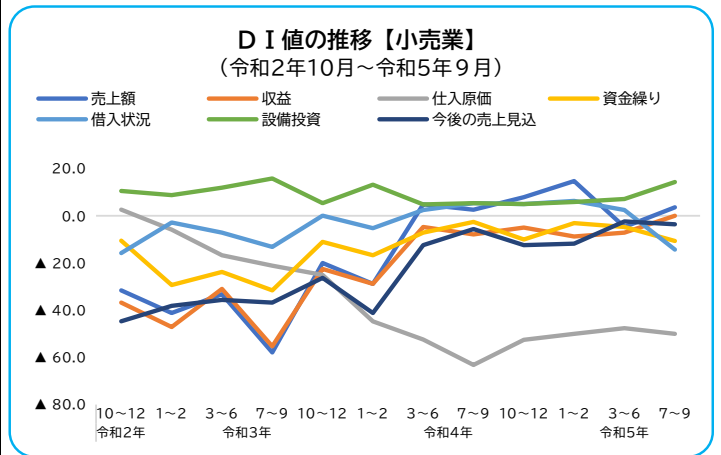
建設業		かなり	やや	不変	やや	かなり		DI値
売上額(全体)	増加	1	5	5	6	1	減少	▲2.8
公共工事(元請)	増加	1	2	4	4	1	減少	▲8.3
民間工事(元請)	増加	0	3	3	10	0	減少	▲21.9
下請工事	増加	0	3	5	8	0	減少	▲15.6
収益	増加	0	6	6	5	1	減少	▲2.8
仕入原価	低下	0	0	5	8	5	上昇	▲50.0
資金繰り	好転	0	1	11	5	1	悪化	▲16.7
借入状況	減少	0	0	14	2	2	増加	▲16.7
設備投資	増加	0	4	13	1	0	減少	8.3
今後の売上見込	増加	0	4	7	6	1	減少	▲11.1



*公共工事なし6件、民間工事なし2件、下請工事なし2件

建設業のDI値は、昨年同期と比較して公共工事（元請）が▲26.5ポイントから18.2ポイント改善しているものの、民間工事（元請）は4.5ポイントから▲26.4ポイント、下請工事も5.6ポイントから▲21.6ポイントと大幅に悪化している。しかしながら、収益は▲26.1ポイントから23.3ポイント改善している。また、仕入原価については▲65.2ポイントから13.2ポイント改善しているが、72.2%の企業が上昇と回答されている。現在直面している経営上の問題点では、半数の企業が「人手不足」と回答されている。

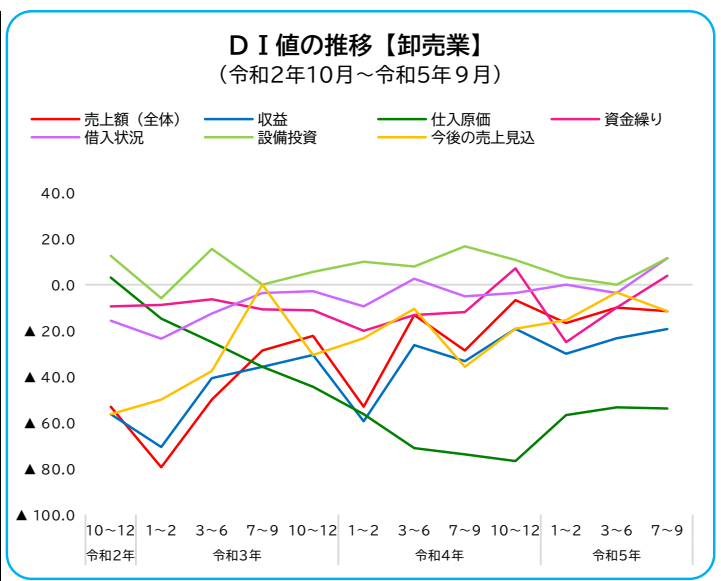
小売業		かなり	やや	不変	やや	かなり		DI値
売上額	増加	0	3	9	2	0	減少	3.6
収益	増加	0	3	8	3	0	減少	0.0
仕入原価	低下	0	0	2	10	2	上昇	▲ 50.0
資金繰り	好転	0	0	11	3	0	悪化	▲ 10.7
借入状況	減少	0	0	10	4	0	増加	▲ 14.3
設備投資	増加	1	2	11	0	0	減少	14.3
今後の売上見込	増加	1	1	9	2	1	減少	▲ 3.6



小売業のDI値は、昨年同期と比較して収益は▲7.9ポイントから7.9ポイント、仕入原価は▲63.2ポイントから13.2ポイント改善となっているものの、資金繰りは▲2.6ポイントから▲8.1ポイント悪化しており、特に借入状況が5.3ポイントから▲19.6ポイント悪化と厳しい状況がうかがえる。設備投資については5.3ポイントから9.0ポイント改善し、今後の売上見込も▲5.6ポイントから2.0ポイント改善となっている。

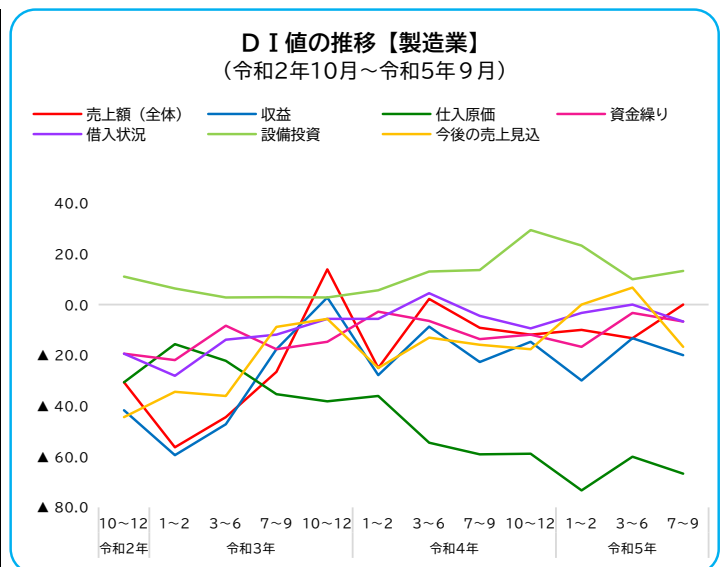
《最近の売れ筋傾向等》ヘルパス、不眠、めまい、血流、夏バテ、冷え 関連商品

卸売業		かなり	やや	不変	やや	かなり		DI値
売上額(全体)	増加	0	4	5	1	3	減少	▲ 11.5
市内売上	増加	0	4	5	1	3	減少	▲ 11.5
市外売上	増加	0	3	5	3	2	減少	▲ 15.4
収益	増加	0	3	4	4	2	減少	▲ 19.2
仕入原価	低下	0	0	2	8	3	上昇	▲ 53.8
資金繰り	好転	1	0	11	1	0	悪化	3.8
借入状況	減少	0	3	10	0	0	増加	11.5
設備投資	増加	0	5	7	0	1	減少	11.5
今後の売上見込	増加	0	3	5	4	1	減少	▲ 11.5



卸売業のDI値は、昨年同期と比較して設備投資以外の項目で改善となり、売上額(全体)が▲28.6ポイントから17.1ポイント、収益についても▲33.3ポイントから14.1ポイント改善している。また、資金繰りは▲11.9ポイントから15.7ポイント、借入状況は▲5.0ポイントから16.5ポイント改善となっている。今後の売上見込については▲35.7ポイントから24.5ポイントの大幅な改善となっている。

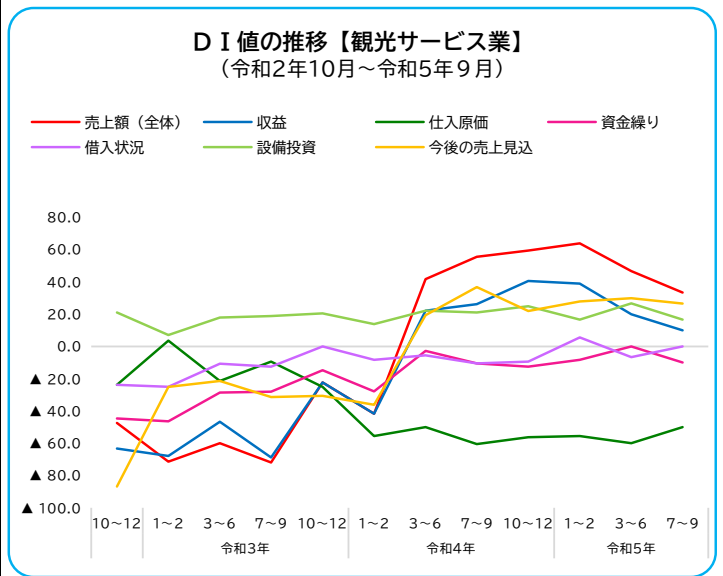
製造業		かなり	やや	不変	やや	かなり		DI値
売上額(全体)	増加	1	2	8	4	0	減少	0.0
市内売上	増加	1	1	10	2	0	減少	3.6
市外売上	増加	0	3	8	3	0	減少	0.0
海外売上	増加	0	0	3	0	0	減少	0.0
収益	増加	0	2	6	6	1	減少	▲ 20.0
仕入原価	低下	0	0	1	8	6	上昇	▲ 66.7
資金繰り	好転	0	3	7	5	0	悪化	▲ 6.7
借入状況	減少	0	2	10	2	1	増加	▲ 6.7
設備投資	増加	0	5	9	1	0	減少	13.3
今後の売上見込	増加	0	2	7	5	1	減少	▲ 16.7



*市内売上なし1件、市外売上なし1件、海外売上なし12件

製造業のDI値は、昨年同期と比較して売上額(全体)が▲9.1ポイントから9.1ポイント改善となっているものの、仕入原価は▲59.1ポイントから▲7.6ポイント悪化していることもあり、収益は▲22.7ポイントから2.7ポイントのわずかな改善に留まっている。また、現在直面している経営上の問題点では、73.3%の企業が「仕入価格の高騰」と回答されている。

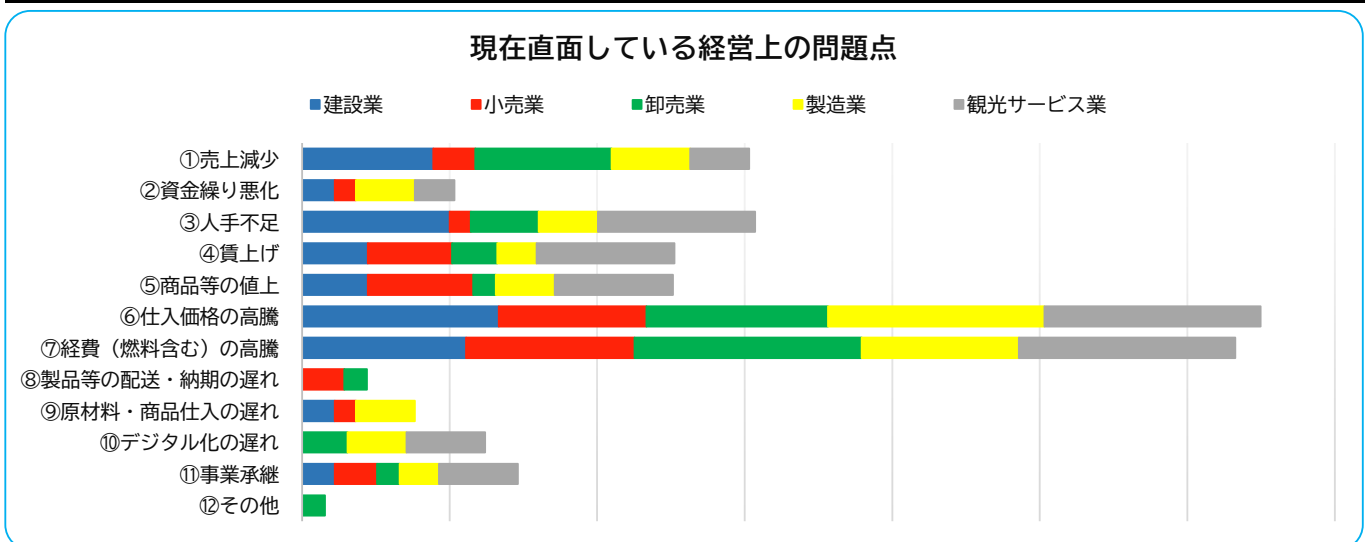
観光サービス業		かなり	やや	不変	やや	かなり		DI値
売上額(全体)	増加	2	9	1	3	0	減少	33.3
地元売上	増加	1	2	10	2	0	減少	6.7
日本人観光客売上	増加	1	9	3	1	1	減少	26.7
インバウンド売上	増加	3	4	5	2	0	減少	28.6
収益	増加	0	8	2	5	0	減少	10.0
仕入原価	低下	0	1	1	10	3	上昇	▲ 50.0
資金繰り	好転	0	1	10	4	0	悪化	▲ 10.0
借入状況	減少	0	2	11	2	0	増加	0.0
設備投資	増加	0	6	8	1	0	減少	16.7
今後の売上見込	増加	0	10	3	2	0	減少	26.7



観光サービス業のDI値は、昨年同期と比較して売上額(全体)は55.6ポイントから▲22.3ポイント悪化している。特に小規模事業者における日本人観光客売上については64.7ポイントから▲38.0ポイントと大幅に悪化となっており、本年は旅行支援未実施や物価等の高騰の影響が大きいと考えられる。しかしながらインバウンド売上は7.1ポイントから21.5ポイントの大幅な改善となり円安等の影響が継続していると考えられる。今後の売上見込については36.8ポイントから▲10.1ポイント悪化となっている。

問2 現在直面している経営上の問題点についてお答えください。(複数選択可)

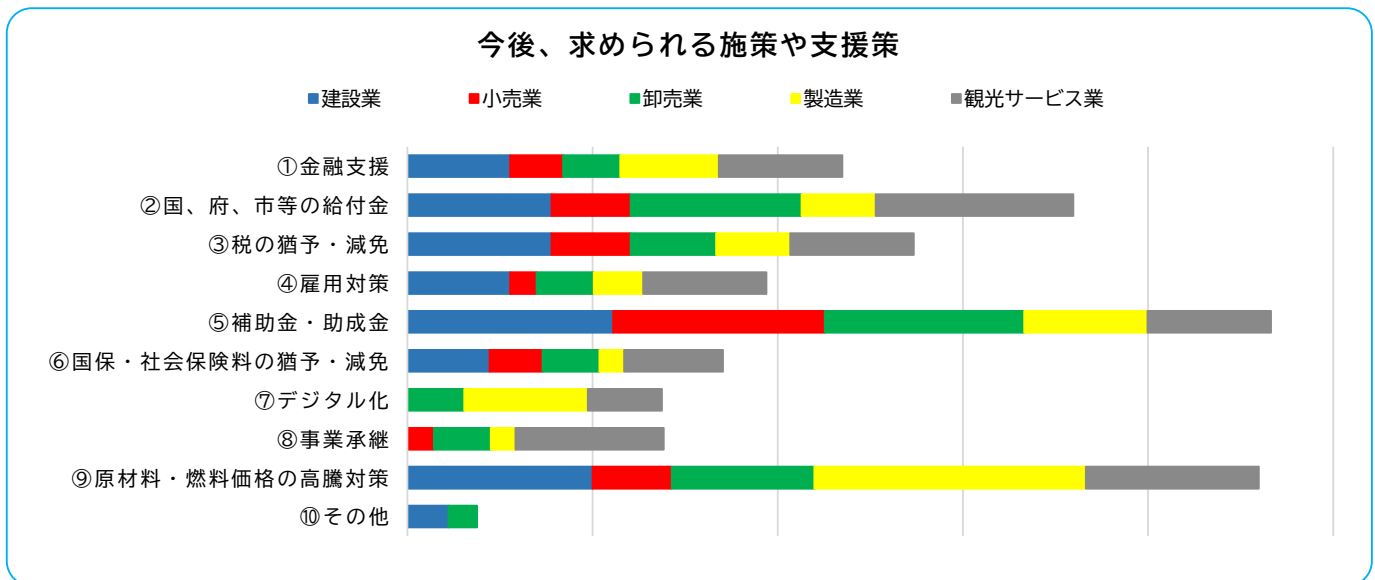
	建設業	小売業	卸売業	製造業	観光サービス業	合計	
①売上減少	8	2	6	4	3	23	31%
②資金繰り悪化	2	1	0	3	2	8	11%
③人手不足	9	1	3	3	8	24	32%
④賃上げ	4	4	2	2	7	19	25%
⑤商品等の値上	4	5	1	3	6	19	25%
⑥仕入価格の高騰	12	7	8	11	11	49	65%
⑦経費(燃料含む)の高騰	10	8	10	8	11	47	63%
⑧製品等の配送・納期の遅れ	0	2	1	0	0	3	4%
⑨原材料・商品仕入の遅れ	2	1	0	3	0	6	8%
⑩デジタル化の遅れ	0	0	2	3	4	9	12%
⑪事業承継	2	2	1	2	4	11	15%
⑫その他	0	0	1	0	0	1	1%



《卸売業》大型店舗が開店する度に売上減少するので対策って困難です

問3 今後、求められる施策や支援策について教えてください。(複数選択可)

	建設業	小売業	卸売業	製造業	観光サービス業	合計	
①金融支援	5	2	2	4	5	18	24%
②国、府、市等の給付金	7	3	6	3	8	27	36%
③税の猶予・減免	7	3	3	3	5	21	28%
④雇用対策	5	1	2	2	5	15	20%
⑤補助金・助成金	10	8	7	5	5	35	47%
⑥国保・社会保険料の猶予・減免	4	2	2	1	4	13	17%
⑦デジタル化	0	0	2	5	3	10	13%
⑧事業承継	0	1	2	1	6	10	13%
⑨原材料・燃料価格の高騰対策	9	3	5	11	7	35	47%
⑩その他	2	0	1	0	0	3	4%



《建設業》為替・インフレ等対策、働き方改革による出来高の減少
 《卸売業》人口減少の歯止め

ご協力頂きました事業所の皆さま、お忙しい中ありがとうございました。